

■「新穂山車保存会」の山車、解体

11月14日(月)、新穂地区の祭りで華やかな山車を披露し、かつ保存し続けてきた「新穂山車保存会」が山車の解体作業を行いました。

高齢化や担い手不足で本年度末に解散することが決定した「新穂山車保存会」。10月9日の「鬼太鼓inにいぼ朱鷺夕映え市」でのお披露目を終えた山車4台は、それぞれ引き取り手が見つかり、運搬しやすいように新穂行政サービスセンター駐車場で解体作業を行いました。

会員たちは慣れた手付きで倉庫から山車を引っ張り出し、大型トラックに積み込めるように惜しみながら解体を進めていました。

ある会員は、「娘をお嫁に出すような気分です。引き取り手が現れたおかげで、今後も佐渡のどこかで見かける機会があるのは良かった。」と話していました。



■各世代が熱演！佐渡人形芝居保存会定期公演



11月20日(日)、佐渡人形芝居保存会定期公演が、佐渡島開発総合センターで開催されました。

佐渡人形芝居保存会の主催で開かれたこの定期公演は、今夏、数十年振りに復活し、今年2回目の公演となりました。

この日は、野浦双葉座・新青座・真明座が出演しました。各座とも、長年上演してきた「いぶし銀」の舞台を披露していました。

人形の所作、太夫の繊細かつ迫力ある節回しなど、約80人余りの観客は舞台に引き込まれていました。

また、親子教室で学んだ子どもたちや高千中学校の生徒たちが、若さ溢れる人形芝居を披露すると会場から大きな拍手が贈られていました。

この他、同時開催として「プチマルシェ」が開かれ、おにCafeのキッチンカーに列ができていました。

大勢の人たちに楽しんでいただいたイベントとなりました。

佐渡の文化・芸能を支援する、賛助会員を募集しています!!

佐渡文化財団では、研究・調査、文化・芸能の普及活動等をご支援いただける賛助会員を募集しています。賛助会員にはニュースレターなどの情報提供のほか、12月特典として特製しめ縄も贈呈いたします。

会費は個人1口2,000円、団体・法人1口5,000円です。何口でも、お申し込みいただけます。ご賛同いただける方のご支援をお願いいたします。



■ 椿の茅場で茅刈講習・ワークショップ開催

11月26日(土)、両津地区の椿茅場で、茅刈講習・ワークショップを行いました。

これは、「佐渡産茅活用プロジェクト」の一環として佐渡文化財団の主催で開催しました。

茅葺職人である講師の古館雄流さんは、参加した10名の参加者に茅刈り、刈った茅の結び方、ボッチ作りを順々に指導していました。

2m近くの茅を鎌で刈り、ある程度の把にまとめて結んでいきます。茅は毎年刈っていくことによって、質が向上していくとされています。

参加者らは講習を通して、講師に質問したり、参加者同士で情報交換をしたりとネットワーク活動の幅を広げました。



■ 大崎そばの会、今年も盛況

羽茂大崎集落で毎年開催されている「大崎そばの会」が、45回目を迎え今年も盛況です。新型コロナウイルス感染防止のため定員を180名から100名に制限しての開催でしたが、毎回すぐに完売となっているそうです。

会員の皆さんが栽培したそばを手打した十割そばとあご出汁は絶品で、食べきれないほどの郷土料理も素朴な味わいでファンが多いです。

そばを振舞った後、会員の皆さんは着替え舞台上で文弥人形や民俗芸能を披露します。次々に披露される芸能に、会場の笑いはつきませんでした。

訪れた人たちは、心もお腹もいっぱいになって満足そうな表情をしていました。



○和楽器を貸し出しています。和の音に触れてみませんか。

○民謡など語り、指導にあたる講師を派遣しています。

○民謡や鬼太鼓などで培われた民芸品などのアイテムを通信販売しています。

